

生活行為向上マネジメント人材育成

モデル研修プログラム

一般社団法人日本作業療法士協会

生活行為向上マネジメントに関する研修システム(案含む)

- 【目的】
- 地域包括ケアに貢献できる人材を養成
 - 生活行為向上の視点でサービス担当者会議や地域ケア会議で多職種に助言できる人材の養成
 - 通所や訪問リハビリテーションで生活行為向上マネジメントが実践できる人材の育成

【基礎コース】

- 生活行為向上マネジメント基礎研修・カリキュラム
- テーマ1:生活行為向上マネジメント概論(90分)
 - テーマ2:生活行為向上マネジメント演習(330分)
 - テーマ3:生活行為向上マネジメント事例報告登録方法(60分)
 - テーマ4:生活行為向上マネジメント事例検討会(360分)

研修受講者数(名簿有)

テーマ1	10,045名
テーマ2	5,906名
テーマ3	未カウント
テーマ4	〃
※(名簿なし)	2,680名

通所リハビリテーション
基礎修了従事者数
658名
(医療:508 老健:150)

【熟練者コース】(案)

現行制度 平成26年11月現在
事例審査2事例合格→熟練者

事例報告登録者数 : 121名 熟練者数 : 44名

○事例紹介・事例登録 ※基礎コース終了者のみ事例登録可能

事例審査
1事例目合格
【アドバンス
研修会】の
受講資格を得る

- 【アドバンス(上級)研修会】
- <研修内容>
- ①地域ケア会議に資する人材育成とは
 - ②マネジメント理論
 - ③各領域でのMTDLPの理解
 - ④関連研修会の講師、地域支援事業など地域づくりへの参画
 - ⑤MTDLP事例登録の審査とは
 - ⑥MTDLP関連研修会講師の育成
 - ⑦協会の方針 最新の情報の提供

事例審査
2事例目合格 → 熟練者
その次開催の【アドバンス研修会】
の受講資格を得る

“基礎コースモデルパターン”

- ◎ 半日コース : テーマ1
 - ◎ 1日コース : テーマ1, 2
 - ◎ 2日コース : テーマ1, 2, 3, 4
 - ◎ 事例報告会 : テーマ4
- * 本マニュアルに準拠した研修用のパワーポイント資料(別添資料:1)
 - * 演習用の事例(基本情報とアセスメント情報を記載)資料(別添資料:2)
 - * グループワークは、6人程度を1グループとして、様々な機関で働く作業療法士で編成
 - * グループ構成員の経験年数を同じくらいで編成

“基礎コース・テーマ別シラバス”

テーマ1	生活行為向上マネジメント概論
研修時間	90分
内容	1. 生活行為向上マネジメントの背景 (国の動向と保健医療福祉従事者の役割) 2. 生活行為向上マネジメントとは (簡単なシート説明も含む) 3. これまでの研究成果
資料	マニュアル1章、2章(セクション1~3)、老人保健健康増進等事業報告書

テーマ2	生活行為向上マネジメント演習1
研修時間	330分
内 容	<p>1. 演習事例紹介(30分)</p> <p>2. グループワーク(演習シートを用いた書き込み演習)</p> <p>(1)生活行為聞き取り演習(30分)</p> <p>(2)生活行為アセスメント演習シートを活用したアセスメント演習(150分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトカム指標活用方法 ・ICF ・アセスメント演習シート書き込み演習 <p>(3)生活行為向上プラン演習シートを活用したプラン演習(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プランの立て方 ・プラン演習シート書き込み練習 <p>※グループワークでは、まず司会者と記録者の順番を決める。講義と実践を交互に入れながら理解を深める。「聞き取りシート」についての講義後、実際の事例を通して個人作業を行った後、グループで話し合い、グループでシートを完成させる。アセスメントでは、アウトカム指標の活用方法、特にICFについて丁寧に説明後、実際の事例について個人作業で書き込んでみる。その後、グループで再度1枚のアセスメントシートを記入し、グループ数にもよるが時間の許す限り発表をする。プランも同様のプロセスを実践する。</p> <p>(4)申し送りシート書き込み方法と活用方法の説明(30分)</p> <p>(ケアプランとの連携)</p>
資 料	マニュアル2章(セクション4, 5)、4章 演習用事例

テーマ3	生活行為向上マネジメント事例報告登録方法
研修時間	60分
内 容	1. 事例報告登録の目的 2. 事例報告登録の方法 3. 添付書類について
資 料	生活行為向上マネジメント事例報告登録マニュアル

テーマ4	生活行為向上マネジメント事例検討会
研修時間	90分～360分
内 容	1. 事例検討(質疑・応答・助言を含む)
資 料	マニュアル4章 事例集

参考資料 : 協会・士会別研修実績

協会主催研修	総数	概論+演習
研究事業育成	221	221
重点課題研修	260	260
全国研修会	687	0
合計	1168	481

協会・士会
研修実績総数
18,631名

士会主催研修会								
	士会名	会員数 (H26.11.1)	総数	概論+演習	名簿なし 人数のみ 把握	通所リハ 内訳	通所リハ	
							医療	介護・ 老人
1	北海道	2555	640	401	-	49	39	10
2	青森県	668	119	0	-	9	5	4
3	岩手県	640	175	173	-	9	7	2
4	宮城県	930	139	108	170	13	4	9
5	秋田県	514	86	83	-	4	2	2
6	山形県	698	316	287	-	34	23	11
7	福島県	844	420	418	43	29	23	6
8	茨城県	1009	286	55	-	19	17	2
9	栃木県	705	35	35	-	1	1	0
10	群馬県	799	162	135	-	9	6	3
11	埼玉県	1541	135	0	-	24	19	5
12	千葉県	1476	29	0	-	6	4	2
13	東京都	2815	443	376	266	12	10	2
14	神奈川県	2169	140	43	316	11	9	2
15	新潟県	918	186	65	-	16	9	7
16	富山県	520	-	-	100	0	0	0
17	石川県	688	216	216	-	16	13	3
18	福井県	452	255	221	150	15	15	0
19	山梨県	583	248	248	191	20	17	3
20	長野県	1277	279	16	-	26	19	7
21	岐阜県	575	106	68	-	9	8	1
22	静岡県	1447	364	212	-	17	13	4
23	愛知県	2064	173	173	112	14	13	1
24	三重県	584	38	0	-	6	3	3
25	滋賀県	420	99	94	-	4	4	0
26	京都府	926	63	51	71	3	3	0

士会主催研修会								
	士会名	会員数 (H26.11.1)	総数	概論+演習	名簿なし 人数のみ 把握	通所リハ 内訳	通所リハ	
							医療	介護・ 老人
27	大阪府	2547	102	0	110	8	2	6
28	兵庫県	2105	140	67	255	9	7	2
29	奈良県	500	21	21	-	1	1	0
30	和歌山県	383	165	61	225	16	14	2
31	鳥取県	444	216	115	-	23	15	8
32	島根県	411	107	67	55	8	4	4
33	岡山県	1151	250	246	205	19	11	8
34	広島県	1288	377	249	-	20	14	6
35	山口県	978	343	18	-	13	10	3
36	徳島県	537	109	15	-	17	16	1
37	香川県	575	88	0	-	8	7	1
38	愛媛県	922	38	38	123	5	5	0
39	高知県	672	120	0	-	3	2	1
40	福岡県	3035	263	263	-	23	21	2
41	佐賀県	517	177	146	-	16	16	0
42	長崎県	891	141	137	225	20	16	4
43	熊本県	1231	299	125	63	18	17	1
44	大分県	720	149	126	-	16	12	4
45	宮崎県	548	285	160	-	19	14	5
46	鹿児島県	1166	91	66	-	8	7	1
47	沖縄県	719	244	27	-	13	11	2
48	海外	19	-	-	-	-	-	-
49	不明	289	-	-	-	-	-	-
士会合計		49465	8877	5425	2680	658	508	150
総合計		49465	10045	5906	2680		通所リハ	658名